

相談支援 相談に来られた方の声 ~西宮在住 Kさんより~

2017年春、みやっこサポートとの出逢いが私の人生を暗闇から救ってくれました。1200g、975gでこの世に産まれてきた双子の孫には障がいがありました。でも福祉サポートなど全く知らず、2年間家の中だけで生活していた双子と家族を無我夢中で支えていました。そんな時、ふと手にした1枚のパンフレットで『みやサポ』の存在を知り、藁をもすがる思いで事務所を訪ねました。とても温かく迎えて頂き、医療従事者の私でも知り得ないサポートを、素晴らしいネットワークを駆使して調べ、必要な専門施設や、専門員(相談員)への道しるべをつけ、孫の将来へ光を与えてくれました。

私は、そのような活動があることをもっと世の中の人々に伝え、いま悩んでいる人、辛いことを一人で抱えている人に寄り添う『みやサポ』の存在を知ってほしいと思います。そして今、そんな願いを込めながら微力ながら自分にできるこどとをと思い、こども食堂のボランティアに参加させて頂いています。

2018年春、3才になった双子は、健常者との関わりの中での更なる成長を求めて幼稚園に入園、新しい生活をスタートさせました。これからも孫の成長を楽しみに、みやサポの活動を支えるボランティアの一員として、情報発信ができればと思っております。

SUPPORT US

～賛助会員・ご寄付のお願い～

NPO法人みやっこサポートは、皆さまのご支持に支えられています。

いただいたご会費やご寄付は、当法人で実施するさまざまな活動・事業に使わせていただきます。

活動のご報告は、ホームページ並びに定期的な報告書として皆さまにお伝えしてまいります。

皆さまからのご支援が、地域の支えが必要な方々をサポートし、活動の充実へとつながります。

皆さまの温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

賛助会員について

- 賛助会員：1年に1度会費を納め、継続的にみやサポを応援する会員
- 会 費：個人賛助会員：会費一口 3,000円／1年
団体賛助会員：会費一口 10,000円／1年

ご寄付について

- 寄付：寄付金で寄付をする
- クラウドファンディング：みやサポのクラウドファンディング
『西宮の情報サイトを一緒につくろう!』プロジェクトを応援する!
- モノでのご寄付

ご寄付・賛助会員受付はこちら

URL:<http://www.miayasapo/support/>



お申込み方法

- パソコン・スマホからのお申込み
HPの“ご寄付・賛助会員で応援する”ページの各申込みフォームでお申込み下さい
※クレジット各種・銀行振込でお支払い可

- 事務所で直接お申込み
平日の10時から16時の間に、事務所にてお申込み下さい
(お問合せ:TEL 0798-81-5301)

- 金融機関等で直接お振込み
下記の口座にお振込みの上、HPの“ご寄付・賛助会員で応援する”ページで『賛助会員・寄付申込書』をダウンロードし、FAXかメールにてお送り下さい。

金融機関でのお申込み方法について

銀行振込

三井住友銀行 西宮支店 普通預金 8719542
NPO法人みやっこサポート 理事長 中島恵美
(エヌピーオーホウジンミヤッコサポート リジショウ ナカシマエミ)

郵便振替

ゆうちょ銀行 記号14330 番号89140031
NPO法人みやっこサポート
(エヌピーオーホウジンミヤッコサポート)

他銀行よりお振込みの場合は

店名:四三八(ヨンサンハチ)
店番:438
普通預金8914003

みんなでつくる みんなでわらう。

NPO法人

みやっこサポート

～活動のご案内～



問題を抱えた人がそれぞれの必要な社会資源とつながり、

地域でのさまざまな生活支援サービスを活用し、

また住民同士の助け合い・相互扶助ができるコミュニティづくりのために。

さらに、支援に携わる人々が常に活用することによって、

支援の幅やサービスの質を向上させるために。



NPO法人みやっこサポートの概要

名 称 NPO法人 みやっこサポート

設 立 平成28年1月4日

代 表者 理事長 中島恵美 (なかしま えみ)

所 在 地 〒662-0034 兵庫県西宮市西田町6番4号

TEL:0798-81-5301 FAX:0798-81-5302

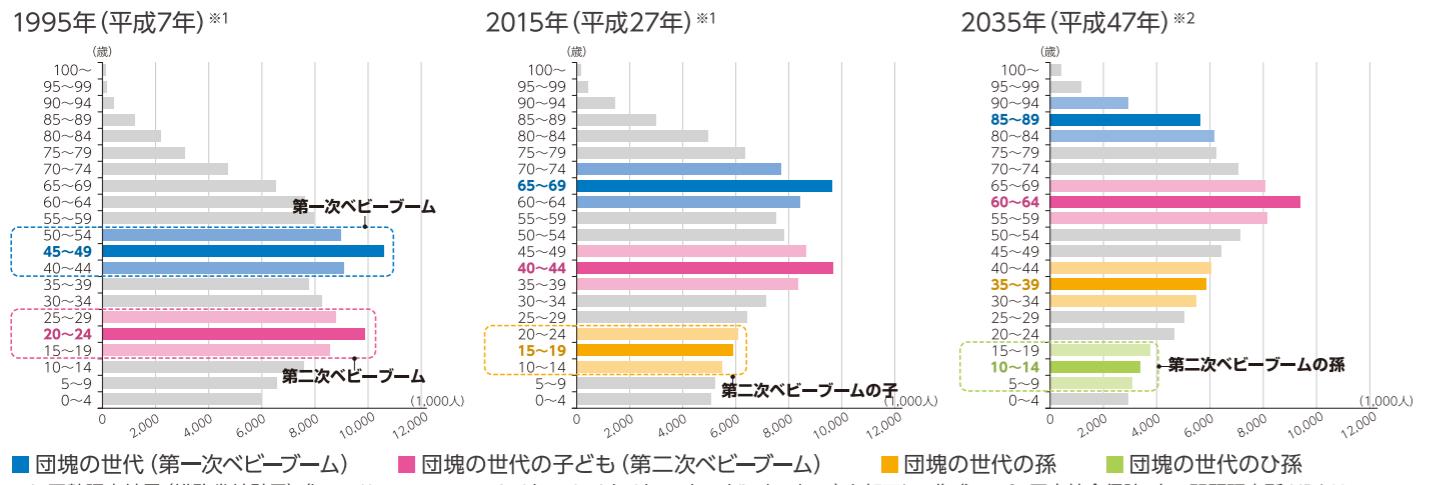
E-mail kuma@miayasapo.net

H P <https://www.miayasapo.net/>

主な活動内容

- ・支援を必要とする方と支援する方をサポートする地域情報サイトの運営
- ・地域活性のベースとなる場の提供と、コミュニティづくり支援
- ・地域福祉に関わる、イベント・講座・勉強会・研修会などの主催・企画・運営
- ・各種交流会の企画・運営
- ・ボランティアの活性化・地域サポートのための運営

日本の人口推移【図①】



これからの日本は、「人と建物の高齢化」が大きな問題になります。上記の【図①】は、20年前から20年後までの40年間の日本の人口推移です。このように少子化が進み、働く人(税金を納める人)が急激に減ることで、社会保障は減り、必要なサービスを満足に受けられない高齢者や、問題を抱えた人が地域に置いてきぼりになるといわれています。そして人材が不足するなか、今ある建物や設備は老朽化し、その補修は追いつかなくなると予測されています。そんな街で、今の子どもの世代、孫の世代はどうやって社会を支えるのでしょうか。

長生きは良いことなのです、人々の命を大切にするというたゆまぬ努力があり、そして戦争がなく平和であったということです。

問題は社会を支える人が激減していること…

私たちは、このような街に、行政に任せただけでなく、自分たちの力を一つにして、安心して暮らせる生活サポートシステムをつくりたいとしています。

すべての人が暮らしやすいまちにするために、
みやサポは3つのサポートを行っています。

情報支援

西宮市の福祉情報を一つにまとめ、困っている人と、必要な情報・支援を繋げる活動です。高齢者福祉から、障がい者、子ども・子育て、一般の方への支援と、すべての人に必要な支援情報を網羅したサイトを順次構築しています。
※一般の方への情報では、病気等に関する情報に重点をあてて掲載する予定です。特にガン患者に関わる情報などは、一日も早く情報を整理し掲載する必要があると考えています。



<https://www.miayasapo.net/>

交流支援

地域の方が集まる場として、イベントや、語学・絵画・料理・スポーツなどの教室を開催し、仲間・居場所・楽しみづくりをお手伝いしています。いざというときに「助けて」といえる人を一人でも多くつくれるために、そしてただ生きるのではなく、より良い人生になるように、その機会や場所をつくっています。

そして今年は、新たに次の活動を計画しています。

- 高齢者の方を中心とした地域の集い場づくり。
- 専門職や介護者の勉強会。
- ガン患者・ご家族の支援活動として、情報の共有化と検診の啓発活動。
- こども&おとな食堂(地域食堂)



直接支援

介護だけでなく、障がいに関わるご相談、子どもや子育てのことなど、どこに聞いて良いかわからないご相談などをお聞きし、必要な支援に繋げるお手伝いをさせていただいている。

(事務所兼地域交流スペース『つどっティ西田公園前』には、事業所のパンフや福祉に関する資料をおいています)

そして更に来年度以降には、介護保険事業所と有償ボランティアによる生活支援を行う計画を進めています。



「福祉情報の一元化」にむけて

なぜ情報サイトをつくるのか

私どもは、「すべての人が暮らしやすいまちをつくる」をスローガンに、これからの中島は、20年以上福祉の現場に従事し地域にある課題と向き合うなかで、社会課題の解決に最も効果があるのは何かを考え続け、人生の困難に出会ったとき、溢れている情報のなかで本当に必要な支援にたどり着くことが難しいことを知り、「福祉情報の一元化」が必要だと気づきました。「そのような情報サイトは既にあるのでは」との声もありましたが、公開されているものは情報が乏しい、あるいは必要な情報にたどりつけないものでした。

■「地域貢献を行う法人の応援ができる」

この情報サイトは、その地域を知る人たちがつくることで、その地域の人達に必要な情報となります。国は、地域に山積する少子化・高齢化社会による大きな課題の解決に、NPO法人やボランティアの力を期待しています。しかし地域福祉に取り組むNPO法人には、志は高くても収益が少なく運営が厳しい法人が少なくはありません。この情報サイトの構築にそのような法人が携わり安定した収入を得ることで、更に地域福祉に還元でき、結果的に社会課題解決への効果が期待できます。

■「福祉関係の事業所の人材不足を改善できる」

福祉の仕事はやりがいのある仕事です。しかし、報道などにより現場の厳しさだけに焦点が当たられ、その職種を希望していた人でさえ避ける状況があり、人材不足が深刻となっています。ポジティブな情報を発信することで偏見を軽減させ、福祉に携わりたい人が躊躇なく就けるようになります。そして求人を掲載することで、仕事を探す人と事業所を繋ぐことができると考えています。更に増え続ける高齢者の生活を支えるには、事業所が地域で安定した運営を行えることが必然で、その応援サイトになると考えています。

高齢者情報があることで期待できること

■「支援の必要な人に必要な支援を繋ぐことで、大切な一人ひとりの人生が変わる」

人がより良く生きるためにには、心身の状態、生活、環境に合った支援やサービスを受ける必要があります。支援に関わる人が、整理された情報の中からその人に合う支援を見つけ繋げることで、その人の心身の状態、QOLは大きく変わり生きやすくなります。

■「不足している支援の構築を社会に働きかけることができる」

今ある社会資源を整理し明確化させることで、不足している必要な支援を見つけることができます。その必要な支援の情報を発信することで、新たな社会資源の構築へと働きかけることができます。

■「介護サービスの質の底上げができる」

良いサービス・事業者を掲載することで、事業者を選ぶ基準を知ることができます。そして、良い基準ができることで、今あるサービス事業者(必要なサービスを理解できない事業者が少なくない)が、どのようなサービスが必要かを知ることができます。

■「必要な情報がどこでも見られる」「介護離職を減らせる」

情報サイトを公開することで、離れた家族も西宮のサービスを知ることができます。

将来的にはこの取り組みがケーススタディとなり他の地域に広がれば、全国の情報をどこにいても誰もが見ることができ、離れていてもサービスを探し選べることで、介護が必要な親や家族を安心してその地域に任せることができます。それは、「介護離職を減らす」という、日本の最優先課題の解決に最も効果があると考えています。



NPO法人みやっこサポート
代表 中島 恵美